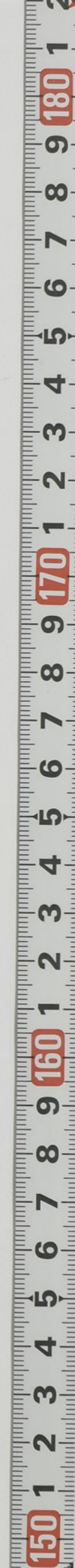


【大谷家文書】 6-1



此乃金之子也

方武方

又金子の通傳の所集の四の在る
 高しと云ふは在る松と京の松
 京都の松と云ふは、おれと
 七松の松と云ふは、おれと
 在る松と云ふは、おれと
 高しと云ふは、おれと
 高しと云ふは、おれと
 高しと云ふは、おれと

伯

大谷九郎

保子

此字音

臨

市安友

金部人少少物多と物多主少の是を言ふ
の物多主少と物少主多の是を言ふ

